

4 期待される効果

- ・職員をいくつかのチームに分けて研修を行うことで、職員同士の情報活用能力が向上する。また、チーム主催の勉強会を行うことで、職員の情報教育に対する意識が向上する。
- ・8月までに研修したことを生かし、9月以降に各部で研究授業や授業研究会を行うことで、1人1台端末の活用についての成果と課題が明確になる。
- ・「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた授業の実践を繰り返すことで、学習指導要領に沿った学力が向上する。また、教科や領域、目的によって1人1台端末をどのように活用していくと良いか整理・分類することができる。
- ・「情報活用能力年間計画」を作成し、実践をしながら修正を加えていくことで、「情報モラル・情報セキュリティ」「情報スキル」「プログラミング」の指導の系統性が明確となり、児童の情報活用能力が向上する。